

令和2年度東北地方発明表彰について

令和2年11月6日

地方発明表彰は、社団法人発明協会(現 公益社団法人発明協会)により大正10年に創設され、各地方において優秀な発明を完成された方々、実施化に尽力された方々、発明等の指導、奨励、育成に貢献された方々を顕彰することにより、発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として、毎年実施されています。
今年度は、本県から下記のとおり受賞が決定しました。

受賞名	受賞者	発明名称	区分	概要
1 東北経済産業局長賞	株式会社テクノあいづ 代表取締役会長 五十嵐 健作	屋根雪自動落雪システム	特許	屋根の棟部分全体に、融雪ヒーター線を収納した金属パイプを設置して、棟部分に積もった雪を溶かして雪割することで、雪の自重による自然落雪を行い屋根上での危険な雪下ろし作業を不要とする。また、棟に残った雪塊が突然落雪して起こる落雪事故を未然に防止することができる。屋根前面に融雪ヒーターを設置する従来方式と比較して、設置コストを大幅に削減できることに加えて、電気代やメンテナンス費用などの運用コストも大幅に削減可能となる。
2 日本弁理士会会長賞	株式会社ファルテック グローバル開発部先行開発課 テクニカルアドバイザー 大竹 信一 生産技術部 瀬戸 洋	3ピースによるミリ波透過レーダーカバーの製造方法	特許	自動車の前方に装着し、前方の障害物を検知することで衝突を回避するミリ波レーダーが主流になっている。ミリ波レーダーの前方に装着するエンブレムについて、ミリ波を透過できるエンブレムの効率的な製法である。従来の製造工程は多工程になり歩留まりが低く大量生産には不向きであった。本発明は、各機能部を3分割してパラレルに生産し、個々の不良を低減できると同時に、最終工程での歩留まりを飛躍的に向上した製法である。
3 一般社団法人福島県発明協会会長賞	株式会社日本遮蔽技研 代表取締役副社長 平山 貴浩 岩橋鉄工株式会社 特機事業部長 廣島 功二	放射線遮蔽体	特許	除染作業においては、除染実施前後に放射線測定による効果検証を行うことが要求されている。検証には放射線測定器が用いられるが、放射能汚染が広範囲に亘っているため、本来測定すべき対象域以外からの放射線を検知してしまい、除染前後の正確な放射線量を測定できない課題がある。本発明は、現場で簡便にかつ正確に放射線量測定をするために、周囲からの放射線の影響を遮断し、入手可能な放射線測定器を用いて放射線量を測定するための補助具である。
4 実施功績賞	株式会社テクノあいづ 代表取締役社長 河原田 孝則	屋根雪自動落雪システム		
5 実施功績賞	株式会社ファルテック 代表取締役社長 文屋 仁志	3ピースによるミリ波透過レーダーカバーの製造方法		

《表彰式》 令和2年11月20日(金)14:00から、ウェディングプラザ アラスカ で行われます。(青森市新町1丁目11-22 (017-722-2233))

《問い合わせ先》 一般社団法人福島県発明協会(電話 024-959-3351)

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 『地方発明表彰』とは ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

■主催

公益社団法人発明協会

文部科学省、特許庁、中小企業庁、日本弁理士会、各経済産業局、担当県(今年度の東北地方の担当県は青森県)

各地方における発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として、大正10年より実施。

全国を8地方に分け、各地方において優秀な発明、考案、意匠を完成された方々、発明等の実施化に尽力された方々、発明等の指導・奨励・育成に貢献された方々の功績を称え顕彰。

■表彰

発明等に関する表彰

・特別賞【文部科学大臣賞、特許庁長官賞、中小企業庁長賞、東北経済産業局長賞、発明協会会長賞、日本弁理士会会長賞】

・県発明協会会長賞

・発明奨励賞

実施に関する表彰

・実施功績賞

上記特別賞の対象となった発明等が法人の場合に、その実施化に功績のあった法人代表者に贈呈(発明者等と代表者が同一の場合は除く)

一般社団法人 福島県発明協会
電話 024-959-3351